

平成18年度国際消防救助隊セミナー開催

参事官

1. 概要

消防庁では、1月31日(水)から2月2日(金)の間、滋賀県大津市唐崎の「全国市町村国際文化研修所(JIAM)」において、国際緊急援助隊救助チームの一員として派遣される国際消防救助隊員のセミナーを同研修所との共催により開催しました。

本セミナーは、派遣時における活動上の留意点や国際動向等に関する知識を習得することを目的としており、本年についても全国の国際消防救助隊登録消防本部の中から80名が参加し、国際消防救助隊としての知識をより一層深めるとともに、所属の異なる国際消防救助隊員相互の交流を深めました。

2. 内容

「国際消防救助隊の意義」

(総務省消防庁国民保護・防災部参事官) 塚田 桂祐

「我が国の国際緊急援助活動」

(外務省経済協力局国際緊急援助室長) 難波 充典

「タイ王国の風習・風土 人々のものの考え方及び常識&マナー」

(大阪外国語大学外国語学部地域文化学科教授) 宮本 マラシー

「国際緊急援助隊救助チームのロジスティクスについて」

(独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊事務局長、同オペレーションチーム) 吉田 丘、山田 知伸

「国際消防救助活動と安全管理」

(東京消防庁警防部救助課安全管理係長) 竹泉 聡

「トルコ共和国西部地震 国際消防救助隊派遣」

(川崎市消防局警防部警防課主査) 鈴 伊知郎

「国際緊急援助隊救助チーム総合訓練に参加して」

(京都府警察七条警察署警備課兼機動隊) 加古 嘉信

「救助隊と医療班の連携及び災害医療について」

「国際緊急援助隊派遣事例・惨事ストレス等について」

(奈良県立医科大学高度救命救急センター医師) 畑 倫明

「INSARAG米国評価参加結果報告」

(総務省消防庁国民保護・防災部参事官付国際緊急援助係長)

皆川 義久

上記の講義に加え、海外において大規模地震が発生したとの想定で、部隊の編成や活動方針等に関する設問について、数グループに分かれての討議によるシミュレーション訓練を行いました。

3. おわりに

今後も消防庁では、本セミナーが国際消防救助隊員の知識習得や情報交換の場として効果があがるよう研修内容の充実を図り、国際消防救助隊の技術レベルの向上に努めます。

国際消防救助隊員については、日頃の訓練において、より一層の技術の向上に努め、効果のあがる国際貢献が提供できるよう期待します。



セミナーの様子



グループ討議(災害想定シミュレーション)の様子